

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 22 日

評価対象事業		評価者	警防救急担当課長	中嶋 健史
消防-08 車両購入事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課 警防救急課 関連課	
総合計画上の位置付け	分野	防災・安全	施策の方針	消防機能の整備・充実

1 事業の目的		2 平成26年度に実施した事業の概要		
対象	市民等	各種緊急自動車の計画的な更新を行う。		
意図	最新鋭の車両に更新し、火災等の各種災害に対応できるようにするため。			
効果	市民を災害から守る。			

3 事業費等基礎データ					
データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	人口等のデータ	データ区分	データ区分	データ区分	
人口	177,243人	人口	177,464人		・各年3月31日 (住民基本台帳)
世帯数	80,676世帯	世帯数	80,368世帯		
事業の対象者数		事業の対象者数			
運営資源状況	当初予算(千円)	88,059	決算値(千円)	34,824	/
	国県支出金		国県支出金		
	地方債	79,000	地方債	30,200	
	その他		その他		
	一般財源	9,059	一般財源	4,624	
事業経費運営	人員配置数	1.0	人員配置数	1.0	
	人件費(千円)	7,797	人件費(千円)	7,668	
	総事業費(千円)	95,856	総事業費(千円)	42,492	
	市民1人当りの経費(円)	541	市民1人当りの経費(円)	239	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果 ※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	震災等大規模災害への対応に備えた車両・装備の充実強化。				
課題解決のために行った平成26年度の取組	新たな開発等により最新鋭資機材のデモンストレーションを受けるとともに、他市との連携訓練を通じて資機材について意見交換を行い必要があれば検討を行う。				<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題 新たな課題	更新計画に基づき実施している。今後、はしご車の更新時期を迎えることから、故障箇所や性能及び劣化等を見極め総合的に判断。				
効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない			
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない			
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している			
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある			
有効性	事業の成果は得られているか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない			
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している			
公平性	受益者負担は公正・公平か	△. 負担未導入	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない		
	協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない	
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容 事業へ統合		
	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	時代の変化とともに複雑多様化する災害に備え、車両及び資機材について研究し、導入計画を検討する。		
総評	常に安全性、有効性を考慮し総合的に判断する。				

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	消防・救急車両及び消防・救急資機材等の活用達成率						単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
あらゆる災害に対応するため、最新の車両及び資機材を購入し、有事の際、迅速的確な災害活動を実施する。	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0				
	実績値	100.0									
	達成率	100.0%									
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	災害等に迅速的確に対応するため、最新鋭の車両の更新を行い、火災・救助・救急の各種災害に対応できるようにする。										

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---